

事業項目	令和7年度事業 重点項目	令和7年度 事業計画	令和7年度 実績報告
①総合相談支援業務	<p><b>【総合相談】</b>                      ○地域住民や関係機関への総合相談窓口の周知                      ○住民の複雑化・複合化した支援ニーズに、専門性を活かした相談対応</p> <p><b>【地域包括支援ネットワークの構築】</b>                      ○既存のネットワークの活用と、新たなネットワークの構築                      ○地域包括ケアシステム充実のために関係機関や地域の支援者との協働</p> <p><b>【実態把握】</b>                      ○圏域の実態について情報収集し、地域ニーズに応じた取り組みの実施</p>	<p><b>【総合相談】</b>                      ○地域住民や関係機関へ総合相談窓口の広報活動                      ○公民館等での総合相談窓口の開催                      ○ネットワークを活用した連携により、センター外の他機関の専門職とも協力して、個別ニーズに対応した支援を行う                      ○研修受講により職員のスキルアップを図る</p> <p><b>【地域包括支援ネットワークの構築】</b>                      ○行政との連携                      ○東部圏域の生活支援コーディネーターや民生委員、関係機関との協力体制の構築                      ○サービス担当者や地域の支援者と繋がり、最新の情報を収集して相談事例への的確な対応ができる体制づくり</p> <p><b>【実態把握】</b>                      ○生活支援コーディネーターや民生委員、公民館や駐在署等との情報交換の実施                      ○高齢者サロン等の地域活動を訪ね、高齢者や関係者への聴取から地域実態を把握する</p>	<p><b>【総合相談】</b>                      ・通いの場（サロンや趣味の教室）にて広報活動の実施                      ・社会福祉協議会や医療機関等と連携した支援をしている                      ・研修受講（精神疾患、ヤングケアラー、ひきこもり、アルコール依存）                      ・新規相談件数 174 件 対応総件数 1,544 件</p> <p><b>【地域包括支援ネットワークの構築】</b>                      ・担当民生委員と連絡を取り合いながら、相談事例に対応                      ・高次脳機能障害ネットワーク会議へ出席                      ・包括的相談支援事業所意見交換会へ出席                      ・ひきこもり支援機関ネットワーク会議へ出席</p> <p><b>【実態把握】</b>                      ・通いの場や民生委員定例会を訪ね、地域状況の把握</p>
②権利擁護業務	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b>                      ○相談・通報への早期対応、益田市総合支援課や関係機関との迅速なチーム支援の実施</p> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b>                      ○権利擁護の観点での支援の充実                      ○関係機関等と連携しながら、個別事例への対応</p> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b>                      ○消費者被害を予防する地域づくり</p> <p><b>【広報・啓発活動】</b>                      ○権利擁護に関する各種制度の普及啓発を実施</p>	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b>                      ○相談や通報時の迅速な情報収集を行い、高齢者虐待対応フローチャートに基づきチーム内での役割分担をして支援を迅速に開始する                      ○コア会議や権利擁護推進会議で関係職種と支援方針を検討</p> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b>                      ○益田市への相談、法律専門職との連携、成年後見制度利用の支援の実施                      ○認知症疾患医療センターとの連携や早期受診への支援                      ○認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームとの連携・協働                      ○益田市権利擁護推進会議への出席</p> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b>                      ○消費者センターや警察署等の関係機関との連携                      ○住民への消費者被害防止の普及啓発</p> <p><b>【広報・啓発活動】</b>                      ○認知症高齢者の相談窓口であることの広報活動                      ○住民へ認知症理解への普及啓発                      ○地域活動等に出向き、権利擁護に関する各種制度の広報</p>	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b>                      ・コアメンバー会議 9 回出席                      ・研修受講（虐待対応）</p> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b>                      ・成年後見人と連携し、支援をしている                      ・益田圏域認知症支援懇話会へ出席                      ・益田市権利擁護推進会議へ出席                      ・研修受講（権利擁護）</p> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b>                      ・研修受講（地域見守りネットワーク、消費者問題）                      ・消費者トラブル防止をテーマに研修開催（民生委員参加）</p> <p><b>【広報・啓発活動】</b>                      ・相談窓口のチラシ掲示や通いの場等での配布                      ・フレイル予防の講座の中に、認知症啓発を含めて実施</p>
③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	<p><b>【関係機関の連携体制構築支援】</b>                      ○地域包括ケアシステム充実のための、フォーマル・インフォーマルサービス等の社会資源担当者との連携体制作り</p> <p><b>【介護支援専門員に対する支援】</b>                      ○介護支援専門員が抱える課題について後方支援                      ○研修開催</p> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b>                      ○地域のケアマネジメント力向上のための連携</p>	<p><b>【関係機関の連携体制構築支援】</b>                      ○社会資源担当者との連携体制の維持・向上                      ○総合事業の住民主体サービス担当者とのネットワーク強化</p> <p><b>【介護支援専門員に対する支援】</b>                      ○介護支援専門員からの随時の相談対応、ネットワークを活用しながら支援方法の検討、直接的・間接的な後方支援                      ○ケアマネジメント支援研修の開催（研修委員会）</p> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b>                      ○ケアマネジメント支援研修の協同開催（研修委員会）</p>	<p><b>【関係機関の連携体制構築支援】</b>                      ・移動販売や介護タクシー等のインフォーマルサービス担当者との顔合わせや連絡の実施                      ・ますだ福祉医療ネットワークへ参加                      ・研修受講（共生社会、コミュニティーソーシャルワーク）</p> <p><b>【介護支援専門員に対する支援】</b>                      ・後方支援 新規 7 件                      ・介護支援専門員と他機関の専門職を繋ぐ支援を行った                      ・ケアマネジメント支援研修の開催（難病、適切なケアマネジメント）</p> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b>                      なし</p>

<p>④介護予防ケアマネジメント</p>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b>  ○心身の状況や置かれている環境に応じて自らの選択に基づいたサービス利用ができるよう、介護予防支援・介護予防ケアマネジメントを実施  ○総合事業利用の推進</p>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b>  ○自立支援に向けたケアマネジメントの実施  ○総合事業介護予防ケアマネジメント運用マニュアルに基づいたマネジメントの実施  ○益田市ケアマネジメント連絡会へ出席し、地域・高齢者支援事業について情報収集する  ○総合事業の実施主体との関係をつくり、ケアマネジメントに活用できる  ○公正性・中立性を保った居宅介護支援事業所へのケアマネジメント委託  ○委託居宅介護支援事業所への総合事業住民主体サービス等の活用の働きかけ  ○アセスメント（主に健康管理等）における要点について情報提供  ○研修受講により職員のスキルアップを図る</p>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b>  ・運用マニュアルに基づいたマネジメントの実施  ・総合事業説明会、ケアマネジメント連絡会、集団指導へ参加  ・種、安田、北仙道地区の住民主体サービス担当者と連携、ケアプラン作成  ・居宅介護支援事業所へケアマネジメント委託（14事業所）  ・研修受講（感染症対策、虐待防止、難病、福祉用具、災害対応、ケアマネジメント、介護予防）  ・電子申請届出システム説明会へ出席  ・実績件数 1,295件（内委託900件）  内訳 介護予防支援:798件 介護予防ケアマネジメント:497件  事業対象者:157件 要支援1:619件 要支援2:519件</p>
<p>⑤圏域地域ケア会議</p>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b>  ○定例型地域ケア会議と第二層協議体（随時型地域ケア会議）の開催  ○地域課題について適切な会議体への繋ぎ</p>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b>  ○4地区（安田・鎌手・種・北仙道）毎に民生委員や生活支援コーディネーター等の出席を得て地域ケア会議を開催し、地域課題の検討、課題解決や資源開発に向けた取り組みを行う  ○第二層協議体と合同で、各職（公民館長、地域魅力化応援隊、地域マネージャー、専門職、行政）を招集した地域ケア会議を開催し、住民主体の移動支援サービス（訪問型サービス・活動D）を創出する  ○挙げた地域課題が解決困難な場合は、益田市地域ケア推進会議や各種会議体へ繋ぐ</p>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b>  ・4地区ごとに1回ずつ、定例型地域ケア会議を開催  ・第二層協議体と随時型地域ケア会議を合同開催し（6回）、住民主体の移動支援サービス（訪問型サービス・活動D等）の創出に向けて取り組み、11月に安田地区、1月に北仙道地区で運用開始となった  ・地域が住民主体の移動支援サービスを推進するためには車両確保の課題があり、益田市地域ケア推進会議に繋がった</p>
<p>⑥任意事業・その他</p>	<p><b>【任意事業】</b>  ○住み慣れた自宅生活継続のため、住宅改修の支援    <b>【その他】</b>  ○運営に関する会議への出席  ○苦情への適切な対応  ○個人情報の保護と適切な取り扱い  ○フレイルの早期発見・早期対応  ○地域住民へ人生会議（ACP）の推進</p>	<p><b>【任意事業】</b>  ○住宅改修の相談・手続き支援    <b>【その他】</b>  ○益田市介護保険運営協議会への出席  ○益田市地域ケア推進会議への出席  ○益田市地域ケア個別会議への出席  ○益田市地域包括支援センター連絡会議・管理者会議へ出席し、市との連携を図る  ○苦情受付と職員間で改善への取り組みの検討  ○個人情報の漏洩がないよう業務環境の点検  ○地域での広報活動や講演依頼等の対応  ○島根県立石見高等看護学院講師  ○養護老人ホーム入所判定委員の委嘱    －フレイル－  ○フレイル予防について住民への啓発  ○高齢者サロンや集いの場において、フレイル予防の啓発（民間企業の資源活用を検討）  ○津田健康体操教室の自治会運営の後方支援（安田）  ○東部圏域の通いの場（体操以外の趣味活動）の情報集約と、ケアマネジャー等への情報提供    －人生会議（ACP）－  ○パンフレットを用いた地域住民への啓発</p>	<p><b>【任意事業】</b>  ・住宅改修の相談・手続き支援の対応    <b>【その他】</b>  ・益田市介護保険運営協議会へ出席  ・益田市地域ケア個別会議、益田市地域ケア推進会議へ出席  ・益田市地域包括支援センター連絡会議へ出席  ・島根県地域包括支援センター連絡会へ出席  ・講演対応（安田：サロン、ボランティア協議会、鎌手：社明大会）  ・島根県立石見高等看護学院学生の地域包括ケアシステムのインタビュー対応  ・島根県立石見高等看護学院講師  ・養護老人ホーム入所判定委員の委嘱  ・益田市対話＋へ参加    －フレイル－  ・通いの場において、フレイル予防の講座を実施  ・津田健康体操教室の後方支援の継続  ・通いの場（体操以外の趣味活動）の情報集約    －人生会議（ACP）－  ・通いの場等でパンフレットの配布</p>

事業項目	令和7年度事業 重点項目	令和7年度 事業計画	令和7年度 実績報告
<p>① 総合相談支援業務</p>	<p><b>【総合相談】</b>                      ・引き続き、センターの役割・機能周知のための広報活動継続                      ・身近な相談窓口として啓発の実施、                      ・複雑化・複合化・多様化・重層化したニーズ、問題に対し、専門性を活かした相談の場とする</p> <p><b>【地域包括支援ネットワークの構築】</b>                      ・地域関係機関との既存ネットワークの活用と社会資源を意識した新たなネットワーク構築への取り組み                      ・属性別の支援体制では、複合課題や狭間のニーズへの対応が困難という実情を踏まえ、重層的支援体制整の一翼を担う（「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」）                      ・インフォーマルサービスの把握、利用促進                      ・医療、介護、障害、生活困窮、児童等の各分野の関係機関との相互関与（地域住民や多様な主体が協働して地域福祉を推進・地域住民が抱える課題が複雑化・複合化する中、従来の支援体制の見直し）</p> <p><b>【実態把握】</b>                      ・圏域の生活環境に沿った地域実態の確認への取り組み                      ・地域の自主性や主体性などを把握し地域の特性に応じた対応                      ・益田市と連携し圏域の高齢者や地域の状況を把握する</p>	<p><b>【総合相談】</b>                      ・商業施設、金融機関、クリニック、調剤薬局、公民館・集会場などへチラシを配布、掲示、置きビラ                      ・多面的な相談内容となるよう、適宜コンサルティングができるようなネットワークづくり、資料収集・整理・活用、多職種連携を図る                      ・研修や勉強会などに参加しスキルアップを図る</p> <p><b>【地域包括支援ネットワークの構築】</b>                      ・行政との連携、協働                      ・公民館等を訪問し地域関係者との連携を図る                      ・地域住民や地域団体を対象に、介護予防に関する制度やサービス、取組について説明、周知、啓発する機会を設ける（活動主体となる地域の住民に向けて周知・啓発を最優先とした、特に、キーパーソンとなる、民生・児童委員、老人クラブ連合会、自治会長、市内ボランティアなどを対象とする）                      ・インフォーマルサービスの把握、利用促進（民生委員・自治会・ボランティアなどインフォーマルな支援）                      ・ケースを通じた関係機関とのネットワークづくり（コンサルティングを意識）                      ・行政との連携強化。新設された総合支援課との協働（重層的支援体制整備）・“ひとまる会議”開催要請、支援方針協議</p> <p><b>【実態把握】</b>                      ・生活支援コーディネーター、民生・児童委員、公民館、ボランティア団体、警察との連携                      ・認知症カフェ、百歳体操、軽スポーツ教室、各地区イベントへの参加にて情報収集                      ・益田市ニーズ調査の活用</p>	<p><b>【総合相談】</b>                      ・医療機関や介護関連施設、障害分野関係機関より随時相談を受け対応している。分野外と思われる相談においても一先ず受け、本年度創設された益田市総合支援課へ情報提供、協議を行う関係性が醸成されつつある。                      ・職員の退職があり、総合相談、介護予防支援・介護予防マネジメントに追われているのが実情であった。総合相談の複雑性、難度も高度となり時間の捻出も難しいところもあり</p> <p><b>【地域包括支援ネットワークの構築】</b>                      ・高齢者の対応のみならず、増加している複合的・重層的・多様性のある複雑化する問題を抱える世帯に対して支援を分野横断的に多機関で連携や支援を理解、促進するべく努力をしており、きたるべき包括的支援体制整備と重層的支援体制整備事業への備えを強く意識し業務に取り組んでいる                      ・必要であれば躊躇なく、ひとまる会議やコア会議など開催相談・要請し情報共有や具体的対応を図るよう努めている                      ・ケースを通じた関係機関とのネットワークづくり（コンサルティングを意識）を行っている～相談しやすい関係醸成                      ・引き続き当センターの周知広報に努めた。圏域内商業施設・金融機関・保健所・合同庁舎・公民館・集会所、クリニック、薬局などへチラシを配布、掲示、置きビラをお願いしている。                      ・実験的にポスティングを継続</p> <p><b>【実態把握】</b>                      ・公民館訪問、地域行事・イベントへの参加、益田市保健センターの健康教室、益田市社会福祉協議会の講座・サロンなど参加し相談ブースを設け当センターの周知に加え、地域の課題・事例の発掘に努め、一定程度の成果はあったと考えている。今後も引き続き、地域住民、行政その他との連携を密にし、また、比較的協力的な民生・児童委員、自治会長などへの同行や自宅訪問など行い関係性醸成に努めた                      ・個別の相談対応を通じ、医療・介護を中心とした行政をはじめとした関係機関、民生・児童委員および地域住民との連携は随時行っており、関係性の醸成に努めた                      ・可能な限り、認知症カフェ、100歳体操、サロンなどへの参加をしている（約10ヶ所程度）</p> <p><b>【令和7年度実績】</b>                      総合相談新規相談件数 総数:327件 27.3/月平均                      総合相談 総数:5624件 468.7/月平均</p>

<p>②権利擁護業務</p>	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や関係機関からの相談や通報への適切な対応</li> <li>・相談・通報への早期対応、迅速なチーム支援への移行</li> </ul> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別事例に対する多角的視点でのチーム対応</li> <li>・関連専門職や関係機関との連携、コンサルティング</li> <li>・生活困窮者自立支援事業、日常生活自立支援事業、成年後見制度利用支援事業の活用、及び、日常生活自立支援事業より成年後見制度への適切な移行</li> </ul> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談事例を通じた消費者被害防止への対応</li> <li>・消費者被害予防の啓発</li> </ul> <p><b>【広報・啓発活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症・権利擁護、人権に関する各種イベント、研修への参加</li> </ul>	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と相互に連絡、協力、協働、支援が行える体制の構築（重層的支援体制整備事業）</li> <li>・民生・児童委員と情報交換・共有</li> <li>・コア会議の積極的開催要請、支援方針協議</li> </ul> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市権利擁護推進会議への出席</li> <li>・益田市中核機関、認知症疾患医療センター、法律関係専門職との連携</li> <li>・認知症初期集中支援チーム活用</li> <li>・認知症地域支援専門員との関係づくり、連携・協働</li> <li>・益田鹿足成年後見センター定例会への出席</li> <li>・石西権利擁護推進センターとの情報交換体制の構築</li> <li>・権利擁護に関する業務、成年後見制度等のコンサルティングを行う事業所・専門職の確保の是非、可否検討</li> <li>・益田市社会福祉協議会（あんしん生活支援センター）との連携強化</li> <li>・医療機関との連携</li> </ul> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警察、消費生活センター等関係機関との連携</li> <li>・国民生活センター・長寿社会開発センターより資料（チラシ、資料、研修情報 etc.）入手、啓発活動や勉強会等に活用</li> </ul> <p><b>【広報・啓発活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症関連の研修、イベントへの参加と関与</li> <li>・キャラバン・メイトとしての活動</li> <li>・“認知症の人と家族の会（益田地区）”との交流、情報交換</li> <li>・“おしゃべりカフェ”参加</li> <li>・国民生活センター・長寿社会開発センターより資料（チラシ、資料、研修情報 etc.）入手、啓発活動や勉強会等に活用</li> <li>・成年後見制度に関する研修、イベントへの参加と関与</li> </ul>	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症地域支援専門員同行訪問</li> <li>・高齢者虐待に係る相談・通報に対し随時対応を行った。警察、医療機関、民生・児童委員、介護事業所等より相談を受け、周辺状況に配慮しつつ行政と連携し対応をしている</li> <li>・益田市総合支援課への相談を適宜行っている</li> <li>・警察より些細な情報でも、まずは提供、相談をしていただける関係性が図られている</li> </ul> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症地域支援専門員との同行訪問を行った</li> <li>・認知症疾患医療センターへの相談(トレジャー(水曜検討会)を積極的に行っている</li> <li>・成年後見制度利用、日常生活自立支援事業利用も夫々複数件あった</li> <li>・益田鹿足成年後見センターへの定例会参加し状況確認、具体的対応相談をしている。</li> </ul> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市権利擁護推進会議篇への出席</li> <li>・警察、消費生活センター等関係機関との連携を模索、会議や研修会など行い関係性の構築を図っている。</li> <li>・成年後見制度の実務を行う法律関係専門職に対する後方支援も行っており、判断能力を欠く常況にある人への直接的、間接的支援を行っている</li> </ul> <p><b>【広報・啓発活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括推進係との協働、益田市コア会議、ひとまる会議での協議、検討など積極的に行い情報共有を行っている。</li> <li>・認知症に関する圏域内の研修会には、ほぼ出席をしている。イベントにも積極的に参加し</li> <li>・国民生活センター・長寿社会開発センターより資料(チラシ、資料、研修情報 etc.)入手、啓発活動や勉強会等に活用</li> <li>・キャラバン・メイトとしての活動・支援</li> </ul> <p><b>【令和7年度実績】</b></p> <p>高齢者虐待に係る対応件数 6件  成年後見制度申請件数 6件</p>
----------------	---	--	--

<p><b>③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</b></p>	<p><b>【関係機関の連携体制構築支援】</b>  ・フォーマル・インフォーマル或いは介護予防サービス・介護サービス、医療サービスなど包括的にケアマネジメントが提供できるよう</p> <p><b>【介護支援専門員に対する支援】</b>  ・介護支援専門員からの相談への対応、個別支援・後方支援  ・フォーマル・インフォーマルサービス等の社会資源（担当者）との連携、協働  ・高齢者の心身の状態や生活環境などの変化に応じて、適切な支援やサービスを組み合わせ提供  ・ケースを通じて、個々の介護支援専門員に対し、ケアマネジメント力向上支援を実施</p> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b>  ・地域のケアマネジメント力向上のための連携  ・地域の介護支援専門員同士のネットワーク構築</p>	<p><b>【関係機関の連携体制構築支援】</b>  ・ボランティア活動、NPO 等によるサービス提供、地域の助け合いなどのインフォーマルサービスと協力・連携できる体制づくり、  ・地域におけるインフォーマルサービスの開発やネットワーク化などインフォーマルサポート機能の強化  ・既存のインフォーマルサポート機能の連携強化、活性化  ・医療機関との連携</p> <p><b>【介護支援専門員に対する支援】</b>  ・三職種、プランナーと夫々の専門性を発揮しケアプランに反映させる  ・介護支援専門員からの適宜相談対応、事例検討会、ケアカンファレンス開催。コンサルテーション、ネットワーク活用  ・ケアマネジメント支援研修の実施、  ・（当センターにおいては）法定業務と法定外業務の明確な区分けを行い、事務的な業務については、事務職員へのタスクシフト促進を図る</p> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b>  ・介護支援専門員支援研修の協働・協同。市町村や介護支援専門員の職能団体とともに企画開催  ・介護支援専門員連絡協議会など職能団体への協力  ・主任介護支援専門員同士のネットワーク構築  ・ケースによっては必要性を勘案し可能な限り協力して支援にあたる</p>	<p><b>【関係機関の連携体制構築支援】</b>  ・インフォーマルサービス利用により、より充実したサービス提供ができるよう目論んでいるが体系立てるところまでは至っていない、引き続き情報収集に努める</p> <p><b>【介護支援専門員に対する支援】</b>  ・介護支援専門員からの相談に対し、3 専門職が必要な助言や同行訪問等を行い対応している。主任介護支援専門員が他包括支援センターと連携し、地域におけるケアマネジメントを意識した研修の計画、実施を行っている  ・プランチェックにより、アセスメントや必要書類確保、記載・明記の方法など逐次確認しお互いの資質向上につながるよう努めている</p> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b>  ・介護予防支援・介護予防ケアマネジメントへの対応で手一杯のところはあり、主任介護支援専門員同士のネットワーク構築は引き続き取り組む課題となる。  ・併せて、主任介護支援専門員の専門性を何処に求めるか検討していく必要あり</p>
<p><b>④介護予防ケアマネジメント</b></p>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b>  ・自立支援・重度化防止に向けたアセスメント力を高める  ・要支援者・事業対象者自身がセルフケアへの理解をする働きかけ、同時に家族への働きかけ  ・介護予防ケアマネジメントから地域課題を探る  ・フレイルに着目、「可逆性」があるということを踏まえ、ケアプランを作成する。</p>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b>  ・総合事業 介護予防ケアマネジメント運用マニュアルに基づいたマネジメントの実施  ・利用者本位の選択、社会資源を活用、利用者の能力、家族に対する支援の重要性を強く認識したケアマネジメント  ・近接領域の知識習得、コンサルテーション、ネットワークにより、より充実したケアマネジメントを行う  ・委託先居宅介護支援事業所への住民主体サービスの活用の働きかけ  ・医療・介護の専門職以外の者でも適切な対応が可能となるよう、各サービスや事業等の利用に関する  ・フレイルの概念、重要性の啓発。適切なアセスメント、介入  ・公正・中立性を担保しての居宅介護支援事業所への委託</p>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b>  ・通所型サービス C 利用促進を図る(今年度、実績:1 件)  ・介護予防支援事業所の実務を粛々と行っているが、総合相談共に人員不足にて、タイムリーな対応、職員の質・量の確保に極めて難渋している。  ・事業対象者の再委託に関しては受入れをして下さる事業所がほとんどなく、当方での対応を余儀なくされている状況は継続しているが、要支援の方の受入れに関しては積極的に行っていただける事業所も増え、難渋するケースは減少、速やかに滞りなく行われ、各種請求業務なども大きな問題もなく行うことができている。(※行政の方で要因が分かればお教えいただきたい)</p> <p><b>【令和 7 年度実績】</b>  介護予防支援事業取扱件数:2006件 /167.2 件/月平均(うち委託:1368 件 114/月平均)  介護予防ケアマネジメント事業取扱件数:116 件 97.1 件/月平均(うち委託:675 件 56.3 件/月)</p>

<p><b>⑤圏域地域ケア会議</b></p>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の実情・特性をから、定時型圏域地域ケア会議実施に向けた環境整備、随時型圏域地域ケア会議の実施</li> </ul> <p>現時点では、圏域内の共通課題抽出は困難と判断し圏域内4地区毎での地域ケア会議を想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題の抽出</li> </ul>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内4地域ごとの圏域地域ケア会議開催</li> <li>・地域課題の検討、問題解決や資源開発・発掘</li> <li>・個別ケースを通じた随時型圏域地域ケア会議の開催</li> <li>・公民館との連絡を密にし、必要に応じて、益田市、生活支援コーディネーター、民生・児童委員、その他必要と認める者等の会議への参加要請</li> <li>・通所型サービスC、訪問型サービスC（短期集中予防サービス）利用促進を図る</li> <li>・住民主体の移動支援の実情把握、仕組みの検討</li> </ul>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域柄、圏域内での共通課題の抽出は困難であると考え、当面は、各地区（4地区であるが吉田地区は対応検討中）において地域ケア会議を行っていくこととしている。適宜、各公民館との連携の中で実施に向け検討・調整を行っている。</li> </ul>
<p><b>⑥任意事業・その他</b></p>	<p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住み慣れた場所で自分らしい暮らしを継続できるよう住宅改修などの支援をする</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター運営に関する会議への出席</li> <li>・苦情への適切な対応</li> <li>・個人情報保護と適切な取り扱い</li> <li>・人生会議ACPの啓発</li> <li>・フレイルの概念、重要性の啓発、早期発見、介入</li> </ul> <p>・スタッフの量・質の確保、充実</p>	<p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修の相談、手続き支援継続。住宅改修後の生活の評価を体系立てて行う</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市介護保険推進協議会出席</li> <li>・益田市地域包括支援センター連絡会議・管理者会議出席</li> <li>・益田市地域ケア推進会議出席</li> <li>・益田市地域ケア個別会議出席</li> <li>・島根県立石見高等看護学院非常勤講師</li> <li>・公共職業訓練介護職員初任者研修課程講義（島根県西部）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な苦情受付、組織内での共有、改善への対処、毅然とした対応</li> <li>・個人情報漏洩がないような環境調整、意識の醸成</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ACP資料を利用し地域住民への啓発活動を行う</li> <li>・ネット輪—ク出席（事例検討会）、益田市健康増進課</li> <li>・フレイルの概念、重要性の啓発（益田市保健センターと協働）</li> <li>・スタッフの質・量的な確保</li> <li>・スケールメリットを活かした募集、人事異動。研修やイベントへの参加による自己啓発</li> </ul>	<p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修の相談、手続き支援を行っている。完成後、必ず訪問し改修の確認・評価を行っている</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター連絡会・地域ケア個別会議などに定期的に参加し、各地域包括支援センター及び行政との情報共有や連携を図っている。</li> <li>・管理者は各会議に出席し、センターの実情について報告を行い今後の課題抽出、顕在化に努めているとともに、各専門職は各種研修等に参加し資質向上に努め、組織内周知を図っている。</li> <li>・各公民館訪問、地域行事・イベント・サロンなど積極的に参加している。当センターチラシ、ACP資料配布し啓発、説明を行っている。</li> <li>・残念ながら、職員の確保が十分にできず、質・量共マンパワー不足といわざるを得ない状況にて、厳しい状況は継続している。組織内職員・有資格者から希望者を募る、教育プログラムを作るなど人材教育・育成も含め体系立てているところである。</li> <li>・益田市医師会訪問看護ステーションと“みんなの保健室”共催 →訪問看護スタッフ減などの理由により中断、再開を模索中</li> <li>・本年5/30(土)～5/31(日)、EAGA設立20周年記念イベントが予定されており、参加することとした。益田市健康増進課、益田市医師会、すてっぷ居宅、NPO石西地域権利擁護推進センターと協働イベントを行う予定。EAGAテナント会と鋭意協議している。当センターの周知、各機関との連携や福祉以外の分野との理解促進を図っていく</li> </ul>

事業項目	令和7年度事業 重点項目	令和7年度 事業計画	令和7年度 下半期実績報告
<p>①総合相談支援業務</p>	<p>【総合相談】 地域住民等すべての人々の人権と尊厳を尊重して、本人の自己決定と自己選択に配慮した相談支援を行う 特に、認知症の方やそのご家族への相談や周知活動、独居の方の生活の不安、フレイル予防の相談や周知活動に取り組む また、多様化・複雑化する地域課題や生活課題を適切に把握できるよう、関係機関と連携して取り組むとともに、各種研修会等に参加し、自己研鑽や情報収集を図る</p> <p>【地域包括支援ネットワーク構築】 圏域の公民館、サロン、各種会議に参加させて頂き、センターの業務の周知を図るとともに地域課題の把握や解決に取り組む また、小集会所単位にケアパスを持って「楽しく」をモットーに認知症の取り組みの啓発活動を行いながら、ネットワーク構築を図る</p> <p>【実態把握】 圏域公民館や民生委員、生活支援コーディネーターから、地域住民の抱える課題を情報共有し、実態を把握していく。</p>	<p>【総合相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトリーチによる丁寧な相談対応</li> <li>・益田市認知症ケアパスの活用</li> <li>・障害福祉サービス等他制度利用者や 8050 等重層的な課題を抱える方への相談支援を関係機関と実施</li> </ul> <p>・重層的なケースや困難ケースなど事例提出を行いひとまる会議での相談や活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早助や見守りサポートなど活用して高齢者(独居・高齢者夫婦など)の安心や徘徊高齢者との同居家族の安心支援</li> <li>・人生の終活活動(ACP)について相談・説明</li> <li>・市の地域支援事業利用の援助</li> </ul> <p>・支援会議などに参加</p> <p>・市内・市外問わず病院や施設との連携</p> <p>・水曜ケース検討会や弁護士相談会等への参加 ・相談面接技術や認知症、フレイルについての研修会等への参加</p> <p>【地域包括支援ネットワーク構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域公民館や社会福祉協議会との連携(行事予定を事前に把握し計画的に参加し交流を図る)</li> <li>・益田保健所と連携し病気を抱える方達の集いの場所などの活用</li> <li>・圏域へ出向き包括支援センターのパンフレット、グッズなど配布など行い啓発活動</li> <li>・民生委員との顔の見える関係づくり(民生委員との交流の機会)</li> <li>・圏域サロンや集い、認知症カフェ、百歳体操等公民館活動へ参加、</li> </ul> <p>・障がい者分野の事業所との連携</p> <p>・行政の各課との連携</p> <p>・地域共生社会について研修参加や報告会を行う</p> <p>【実態把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二層協議体と連携し圏域 6ヶ所の公民館への訪問、情報交換</li> <li>・社会福祉協議会開催の第2層協議会に参加</li> </ul> <p>・行政機関からの情報収集、地域の実態や課題の把握 ・障がい者の支援センターとの情報交換</p>	<p>【総合相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規総合相談 182 件(内電話 162 件) 相談形態 電話 89% →訪問しての件数 102 件</li> <li>男性:38% 女性:61% 不明:1% 後期高齢者:71%</li> <li>独居または高齢者のみの世帯:57%</li> <li>介護保険サービスを紹介し解決できた等、相談のあった月で解決したケース:40%</li> <li>権利擁護や認知症、家庭支援等、解決を相談受付次月以降に持ち越すケース:60%</li> <li>複雑化に関連し解決に困難なケースが増えてきている</li> <li>・ひとまる会議 10/30・11/7・11/11・12/18・12/19・</li> </ul> <p>・早助設置の援助及び見守りサポートの説明 ・「思いをつなげるシート」の配布と活用</p> <p>・支援会議 (社協)(市)10/24・11/25、12/27 ・県外の急性期病院との連携及び老健、特養施設入所などの援助 ・松ヶ丘病院入院患者の地域意向に向けた検討会 「長期入院が懸念される方の入院中からの支援」について ・水曜ケース検討会 ・地区の公民館での健康相談 1/20</p> <p>【地域包括支援ネットワーク構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二条地区「二条ふれあい祭り」にて地区民の健康チェック 10/25</li> <li>・西益田地区横田 3 班健康教室にて「介護保険について学ぼう」 10/18</li> <li>・今西自治会の認知症について及び予防体操 10/23</li> <li>・高津、浜寄地区健康教室 2/9</li> </ul> <p>・障がい者相談支援事業所、精神科病院、との連携 ・にも包括の現状と未来(研修) 10/3 ・精神障がい者地域移行・地域定着支援事業者集会「マスカラトーク」 12/16 ・益田市包括的相談支援事業者意見交換会参加 10/28・3/24</p> <p>【実態調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西部圏域支え合い協議体(2層協議体)事前打ち合わせ</li> <li>・西部圏域支え合い協議体(2層協議体)小野地区 11/18</li> <li>・ " 西益田地区 1/20</li> </ul>

<p><b>②権利擁護業務</b></p>	<p>【高齢者虐待への対応】 相談、通報があった時点で、地域包括推進係と連携し、初動期対応、協働、早急な終結に向け取り組む。 また、未然防止のため、地域での周知活動に取り組む。</p> <p>【判断能力を欠く状況にある人への支援】 高齢者の成年後見制度の利用、日常生活自立支援事業の活用、また、認知症の方やその家族から相談に、関係機関と連携しながら対応する。特に、認知症の方が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、認知症カフェのような、アットホームで楽しい啓発活動に取り組む。</p> <p>【消費者被害の防止及び対応】 個別の事例に対し、被害回復や再発防止に向け、関係機関と連携し相談対応を行うとともに、防止に向けた周知活動に取り組む。</p> <p>【広報・啓発活動】 高齢者虐待の防止や成年後見制度・日常生活自立支援事業の紹介、消費者被害の防止のため、周知活動を行う。</p>	<p>【高齢者虐待への対応】 ・高齢者虐待または疑われる事例への迅速な対応 ・虐待防止コア会議への事例提出、支援体制検討 ・虐待防止研修会等への参加 ・集いの場等での周知活動</p> <p>【判断能力を欠く状況にある人への支援】 ・成年後見についての相談には、地域包括推進係や益田・鹿足成年後見センターと連携して対応 ・日常生活自立支援の相談については社会福祉協議会と連携して対応 ・障がい者については益田市基幹相談支援センターなどとの連携 ・圏域のサロンや集いに出向き啓発活動や相談支援に取り組む ・地域の認知症カフェへの参加・交流 ・法人内の認知症カフェ開催 ・キャラバンメイト研修等の受講 ・認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員との連携 ・水曜ケース会議を活用 ・益田鹿足成年後見センター運営会議・定例相談会への参加</p> <p>【消費者被害の防止及び対応】 ・消費者センターや消費生活センターと連携し対応 ・弁護士による無料相談活用への支援 ・集いの場等で予防のための周知活動 ・パンフレットやグッズ配布などで啓発活動</p> <p>【広報・啓発活動】 ・年度初めにセンターの周知に合わせ、認知症の理解や権利擁護についての紹介のチラシやグッズ等作成、配布</p> <p>・地域の各機関と連携し、様々な機会を通じ、情報発信</p>	<p>【高齢者虐待への対応】 ・高齢者虐待コア会議 11/4・12/5・12/22 ・高齢者、障がい者虐待防止・権利擁護研修会 1/16・3/9</p> <p>【判断能力を欠く状況にある人への支援】 ・アルコール関連問題支援者研修会 10/7 ・身寄りのない人の権利擁護支援推進事業説明会 10/10・3/26 ・認知症地域医療連携会議・サポート医フォローアップ研修 2/1 ・引きこもり支援機関ネットワーク会議 3/19</p> <p>・法人内ことめちゃんカフェ(認知症カフェ)参加 ・益田・鹿足後見センター運営協議会、定例相談会参加(奇数月) ・益田・鹿足後見センター研修会実行委員会打合せ 12/23 ・ " (オンライン) 1/23 ・ " (オンライン) 3/11</p> <p>【消費者被害の防止及び対応】 ・人権センター「愛・人権展」包括職員観覧</p> <p>【広報・啓発活動】 ・美濃地区健康相談・啓発活動 1/20 ・高津浜寄地区「住み慣れた地域で安心して生活するために利用できるサービス」について講和 2/9</p>
<p><b>③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</b></p>	<p>【関係機関との連携体制構築支援】 介護支援専門員やサービス提供事業者、行政機関、民生委員、インフォーマルな支援者等とのネットワークの構築をする。 介護支援専門員との連携を深めるため、各事業所に訪問し、意見など収集し地域包括ケア推進のための連携を深める。</p> <p>【介護支援専門員に対する個別支援】 利用者にとって最善のケアマネジメントが提供されるよう、介護支援専門員に寄り添い、事例ごとに指導や助言を行う。 また、ケアマネジメント支援研修を市とともに開催し、ケアマネジメントの質の向上を図る。</p>	<p>【関係機関との連携体制構築支援】 ・居宅介護支援事業所やサービス提供事業者等と顔の見える関係作り ・介護支援専門員との信頼関係作り、交流 ・介護支援専門員連絡会への参加</p> <p>・ますだ福祉医療ネットワークへの参加(奇数月) ・介護予防ケアプランのチェック時等の機会を有効に活用し、介護支援専門員や介護予防支援員から地域住民の抱える課題を情報収集 ・益田市地域ケア会議、地域ケア個別会議への参加(開催月)</p> <p>【介護支援専門員に対する個別支援】 ・介護支援専門員が作成したケアプランを確認、評価</p> <p>・援助に困難を感じている介護支援専門員へ助言、後方支援</p> <p>・ケアマネジメント支援研修の企画、案内(知識習得研修は5つのセンターで担当) ・SV型の事例検討を活用する</p>	<p>【関係機関との連携体制構築支援】 ・委託先居宅介護支援事業所の介護支援専門員のケアプラン確認時に担当するケースの話を聞く ・包括的相談支援事業者連携推進会議参加 3/24</p> <p>・ますだ福祉医療ネットワーク 11/19 1/29・3/18 ・益田市地域ケア個別会議 2/5 ・包括的な支援体制を構築するための研修会 3/18</p> <p>【介護支援専門員に対する個別支援】 ・主任介護支援専門員による委託先の居宅介護支援事業のケアプラン確認 10月:28件 11月:24件 12月:16件 1月:18件 2月:31件 3月:34件 ・主任介護支援専門員による直営のケアプラン確認 10月:21件 11月:14件 12月:17件 1月:17件 2月:14件 3月:17件</p> <p>・居宅介護支援事業所の介護支援専門員の担当している困難ケースの後方支援 ・主任介護支援専門員による介護支援専門員研修会議に定期的に参加</p>

	<p>【主任介護支援専門員との連携】 各事業所の主任介護支援専門員と連携し、介護支援専門員等の知識、技術の向上を図る。 また、主任介護支援専門員同士で協力し、指導力向上、共通理解、地域づくりを行う。</p>	<p>【主任介護支援専門員との連携】 ・ケアマネジメント支援研修会の協働企画運営 ・主任介護支援専門員フォローアップ研修会の企画運営 ・主任介護支援専門員との連携により地域の介護支援専門員等のケアマネジメント実践を支援する ・研修会や会議への参加を通じ、連携強化</p>	<p>【主任介護支援専門員との連携】 ・個別地域ケア会議(全大会)参加 ・研修委員会議に参加</p>
④介護予防ケアマネジメント	<p>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】 利用者とともに、自立を支援し、自己決定と自己選択に配慮したケアプランを作成する。 また、地域の様々な社会資源を可能な限り情報収集して活用し、地域での生活を支援するプラン作成を行う。 利用者の人権と尊厳を尊重できるよう、各種研修会に参加しスキルアップするとともに、多職種、関係機関との連携を大切にする。</p>	<p>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】 ・介護予防給付及び介護予防・日常生活支援総合事業のケアマネジメントの実施 ・益田市地域支援事業及び益田市高齢者支援事業の活用支援 ・自立支援に向けたケアプラン作成 ・フォーマル・インフォーマル問わず社会資源を活用したプラン作成  ・介護予防やケアマネジメントについての会議や研修会等への参加 ・ケアマネジメント技術向上のための研修会への参加  ・多職種、関係機関との連携</p>	<p>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】 ・事業対象者のプラン 183件(内委託39件) ・介護予防支援、介護予防ケアマネジメント 2,001件 (内委託1,089件)  ・委託事業所 市内17事業所 ・地域の100歳体操や個々の趣味活動などインフォーマルな活動を含めたプラン作成へのアドバイス ・地域ケア個別会議(全大会) 2/5 ・ケアマネジメント連絡会 3/23 ・スーパービジョン型事例検討会 11/12 ・介護予防研修会 1/30 ・ケアマネジメント支援研修 2/18</p>
⑤圏域地域ケア会議	<p>【圏域地域ケア会議の開催】 地域ケア個別会議や西部地域ケア会議で事例検討等を行い、地域課題を把握する。また、益田市地域ケア推進会議へ地域課題をつないでいくとともに、関係機関や地域住民とのネットワークを強め、協働して体制作りを行う</p>	<p>【圏域地域ケア会議の開催】 ・地域ケア個別会議や西部圏域ケア会議で自立支援・重度化防止に取り組む ・地域課題を把握し、地域ケア会議を活用して改善に取り組む。 ・地区の民生・児童委員など地域の方個々に包括を高齢者の相談場所としての認識及び活用しやすさがあるかなど違いがみられる為民生・児童委員の意識調査に取り組み地域ケア会議に活かしていく ・事例に合わせ、柔軟に参加者を調整し、多様な意見を出し検討</p>	<p>【圏域地域ケア会議の開催】 ・西部圏域地域ケア会議 小野地区 11/18 ・ " " 西益田地区 1/20 ・地区の後継者、担い手不足が課題</p>

<p>⑥任意事業・その他</p>	<p>【任意事業】 住宅改修支援事業の対象者に対し、住宅改修に関する情報提供や助言等を行い、適切な事業実施をおこなう 法人内の地域支援事業に協働する</p> <p>【その他】 石見高等看護学校の授業、実習のスムーズな受け入れ。 公民館や協議体と連携して、各地域の実態を把握し、地域で包括的ケアをどう作っていけるか協働していく 地域包括ケアシステムのための取り組みを行う 地域包括支援業務遂行のための各種会議、研修会等への参加を積極的に行う</p>	<p>【任意事業】 ・住宅改修の支援 ・認定調査の受託 ・地域交流の機会へ積極的に参加 ・法人内の地域福祉委員会と協力して地域への貢献活動(受診や買い物移送援助や講師依頼など)など行う。認知症(寿梅ちゃん)カフェの開催を協働する ・地域の社会資源の開発に協働する</p> <p>【その他】 ・島根県立石見高等看護学院の生徒実習受け入れ  ・島根県立石見高等看護学院講師派遣</p> <p>・益田市介護保険推進協議会、益田市地域ケア推進会議への参加 ・在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会への参加 ・益田圏域地域包括支援センター連絡会への出席(開催月)</p> <p>・島根県包括連絡会議への参加</p> <p>・地域包括支援業務遂行の為の各種会議への参加</p>	<p>【任意事業】 ・住宅改修の支援 ・福祉用具購入支援 ・地域の買い物支援、ことめちゃんカフェ(認知症カフェ)への手伝い</p> <p>【その他】 ・島根県立石見高等看護学生実習 ・島根県立石見高等看護学院授業講師 ・明誠高校、福祉課3年生授業講師「地域包括支援センターの役割」1/9 ・ヤングケアラー支援研修会 11/13 ・益田市介護保険推進協議会参加 2/20 ・包括管理者会議参加 3/30 ・益田圏域地域包括支援センター連絡会議参加 12/18 ・地域包括支援センター研修 1/29 ・えびす事業運営推進会議参加 12/17 ・益田市地域ケア推進会議 3/17 ・益田市権利擁護推進会議参加 2/10 ・島根県訪問看護支援検討会議参加 3/24</p>
------------------	---	--	--

事業項目	令和7年度事業の重点項目	令和7年度 事業計画	令和7年度 実績報告
<p>①総合相談支援業務</p>	<p><b>【総合相談】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の身近な相談窓口としての周知を継続して行う。</li> <li>・地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう様々な相談に対応し、課題を明確にした上で適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度の利用に繋げる等の支援を行う。また、継続的フォローを行うことで困りごとの解決に向けた対応を行う。</li> <li>・複合化・複雑化した支援ニーズに対し、地域共生社会の観点に立った包括的な支援を行う。</li> </ul> <p><b>【地域包括支援ネットワークの構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な相談に対応できるよう、医療や介護・高齢・障害・地域福祉等の様々な分野に関する情報の収集・整理・把握を行なうとともにネットワークの構築に努める。</li> </ul> <p><b>【実態把握】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な人を発見するとともに、地域ごとの課題やニーズの把握を行なう。</li> </ul>	<p><b>【総合相談】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や関係機関等が集う場を活用し、相談窓口の周知活動を行う</li> <li>・相談対応の充実（窓口・訪問・関係会議や地域事業等への参加による相談受付や対応）</li> <li>・他の相談支援を実施する機関との連携</li> </ul> <p><b>【地域包括支援ネットワークの構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議、関係会議や地域事業等を通じた情報の収集・整理・把握（美都地区民生児童委員協議会定例会・地域サロン・美都圏域第2層協議体・社会福祉協議会関係会議等）</li> <li>・重層的体制整備事業との連携</li> <li>・各関係機関や民生委員、インフォーマルサポート関係者等とのネットワーク構築</li> </ul> <p><b>【実態把握】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議や第2層協議体・第2層生活支援コーディネーターとの連携等を通じた社会資源・地域課題等の把握</li> <li>・関係会議や地域事業への参加等を通じた支援が必要な人の発見・地域課題やニーズ等の把握</li> </ul>	<p><b>【総合相談】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2層生活支援コーディネーターや地域の方からを通じて、地域サロンへ3ヶ所・自治会の健康教室へ1ヶ所・美都地域のサロン交流会への参加を行い、地域住民の方との顔が見える関係づくりやセンターの周知活動を行った。しかし、今年度はサロン等への訪問回数が少なく、十分な活動が行えなかった。</li> <li>・総合相談新規相談件数：56件 延べ対応件数：308件（別紙①）</li> <li>・居宅介護支援事業所と兼務の職員は、総合相談支援業務の対応について一緒に協議を行ったり訪問をしている。また、助言をしながら一人で対応を行う等、スキルアップに努めている。</li> </ul> <p><b>【地域包括支援ネットワークの構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議の開催（定例型：6回・随時型1回）、地域サロン等への訪問（4ヶ所）、美都圏域第2層協議体への出席（6回）、社協事業説明会への出席、総合支援課主催の益田市包括的相談支援者意見交換会・連携会議への出席（3回）にて連携を図り、各関係機関やインフォーマルサポート関係者等とのネットワーク構築に努めた。</li> <li>・民生児童委員の改選が行われ、改選後に美都地区民生児童委員協議会定例会へ参加し、センターの周知を行った。</li> </ul> <p><b>【実態把握】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議や第2層協議体・第2層生活支援コーディネーターとの連携・関係会議等への参加等を通じて地域の情報把握に努めた。</li> </ul>
<p>②権利擁護業務</p>	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者虐待対応について、益田市高齢者福祉課や美都地域総務課等との連携を図り、初動期から終結までの対応や支援を迅速に行なう。</li> </ul> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフ・ネグレクト状態や認知症の症状がある高齢者等に対して関係機関と協働し、支援を行う。</li> <li>・日常生活自立支援事業の相談について、社会福祉協議会と連携しながら対応し、自立生活の継続に向けて援助を行う。</li> <li>・成年後見制度利用相談について、迅速にサポートできる体制を整える。</li> </ul>	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者虐待対応フローチャートに基づき、高齢者虐待または疑われる事例への迅速な対応</li> <li>・益田市権利擁護推進会議への出席（開催月）</li> <li>・虐待対応に関する研修会への参加</li> <li>・虐待防止に関する内部研修会の実施</li> </ul> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフ・ネグレクト状態にある事例への対応</li> <li>・認知症高齢者等、高齢者の権利擁護に関する事例への対応</li> <li>・日常生活自立支援事業の利用や成年後見制度の活用についての対応</li> <li>・権利擁護に関する研修会への参加</li> <li>・認知症ケアパスを活用し、認知症予防の啓発と認知症相談窓口の</li> </ul>	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待が疑われるケースとしての通報件数は、昨年度同様0件であった。（別紙②）</li> <li>・益田市権利擁護推進会議への出席（2月）</li> <li>・令和7年度高齢者虐待防止研修への参加（1月）</li> <li>・虐待防止に関する内部研修会の実施（7月）</li> </ul> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活自立支援事業の利用についてや成年後見制度の活用についての相談対応件数は0件であった。</li> <li>・認知症支援に関する相談件数6件。認知症初期集中支援チームとの同行訪問、居宅介護支援事業所が担当しているケースの地域との連携、要介護認定の申請を行う前段階のご本人との関り方、医療から遠ざかっている方の受診に向けての支援等を行った。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多機関・多職種との連携による支援が十分に行えるよう、会議や研修等を活用して情報の共有や関係づくりを図る。</li> <li>・美都地域ケア会議において、認知症の方への対応についての検討を行い個別事例への対応を行う。</li> <li>・認知症に関する普及啓発を行いながら個別事例への対応を行っていく。</li> </ul> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携のもと、消費者被害情報の把握を行い、情報伝達と適切な対応により被害を未然に防ぐよう支援を行うとともに、被害回復のための関係機関に繋ぐ。</li> </ul> <p><b>【広報・啓発活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携を図りながら、虐待・消費者被害・認知症の方への理解・日常生活自立支援事業・成年後見制度等の啓発等を行い、権利擁護に関する支援が必要な方への早期対応が行えるよう努める。</li> </ul>	<p>周知を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援チームとの連携</li> <li>・認知症高齢者・若年性認知症の支援等に関する研修会への参加</li> </ul> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐在所や消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害に関する啓発・相談対応を行う。</li> </ul> <p><b>【広報・啓発活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域事業等への参加を通じ、権利擁護に関する広報・啓発活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症や権利擁護に関する研修会への参加(7月・1月)。</li> </ul> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市消費生活センターから提供があった詐欺被害に関する啓発チラシを地域サロン訪問時に配布し、注意喚起を行った。</li> </ul> <p><b>【広報・啓発活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に関する正しい情報を伝えた。</li> </ul>
<p>③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p>	<p><b>【関係機関の連携体制構築支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議を通じ、美都地域の福祉関係者間の協働型ネットワークの構築を図り、地域の介護支援専門員と関係機関との連携を支援する。</li> </ul> <p><b>【介護支援専門員に対する支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の介護支援専門員が抱える困難事例について、関係機関と連携を図りながら具体的な支援方針を検討し、助言等を行う。</li> <li>・介護支援専門員が地域の様々な社会資源を活用できるよう、地域との連携を図りながら社会資源の把握を行い、必要に応じた情報提供を行う。</li> </ul> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任介護支援専門員が中心となり、介護支援専門員との連携を図りながら、支援を必要とする方に対し、介護支援専門員等が包括的・継続的ケアマネジメントの実践ができるよう環境づくりを行なう。</li> </ul>	<p><b>【関係機関の連携体制構築支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議や個別相談等を通じた関係機関等との連携における介護支援専門員のニーズ把握</li> <li>・益田市地域ケア推進会議・益田市地域ケア個別会議への出席（開催月）</li> <li>・行政保健師と連携し、個別事例へ対応</li> </ul> <p><b>【介護支援専門員に対する支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員が抱える困難事例についての後方支援(支援方針の検討・助言・地域ケア会議等を通じた対応方法の検討等)</li> <li>・把握している地域の社会資源について、介護支援専門員へ情報提供を行う。</li> <li>・益田市ケアマネジメント支援研修企画・運営</li> </ul> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任介護支援専門員フォローアップ研修企画・運営</li> <li>・主任介護支援専門員を中心とした介護支援専門員との連携強化</li> <li>・美都地域におけるケアマネジメントの課題の把握</li> </ul>	<p><b>【関係機関の連携体制構築支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議を通じ、福祉関係者の協働型ネットワークの構築を図り、地域の介護支援専門員と関係機関との連携支援を実施。</li> <li>・地域の介護支援専門員が抱える困難事例について、関係機関と連携を図りながら具体的な支援方針の検討を行うために、【随時型】地域ケア会議を開催。</li> <li>・益田市地域ケア個別会議への出席（5月・8月・2月）</li> <li>・益田市社会福祉協議会事業説明会への出席(7月)</li> <li>・個別事例について、行政保健師と同行訪問を行った。</li> </ul> <p><b>【介護支援専門員に対する支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の介護支援専門員等から相談を受け付けた際には、随時助言を実施。</li> <li>・美都圏域を担当区域としている介護支援専門員へ社会資源・地域課題等についての情報提供の実施。</li> <li>・ケアマネジメント連絡会への出席(3月)</li> <li>・益田市ケアマネジメント支援研修企画・運営(5月・8月・10月・11月)</li> </ul> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任介護支援専門員フォローアップ研修は、圏域地域ケア会議の日程と重なり、出席することができなかった。</li> <li>・主任介護支援専門員と協同して、SV型事例検討会の企画・開催を行った。</li> </ul>
<p>④介護予防ケアマネジメント</p>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予防給付及び介護予防・生活支援サービス事業において適切にサ</li> </ul>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予防給付のケアマネジメント、介護予防・生活支援サービス事業</li> </ul>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防支援給付管理件数：80件（別紙③）</li> </ul>

	<p>ービス提供されるようマネジメントを行う。</p> <p>・「自立に向けた介護予防と生活支援への取り組み」について地域住民の方々に説明を行いながら、サービスの維持向上を図る。</p>	<p>の介護予防ケアマネジメントの実施</p> <p>・益田市地域支援事業および益田市高齢者支援事業の利用者支援業務</p> <p>・ケアマネジメント技術向上のための研修会への参加</p> <p>・介護予防・日常生活支援総合事業に関わる会議や研修への参加</p>	<p>・介護予防ケアマネジメント給付管理件数：219件（別紙④）</p> <p>・配食サービスの利用支援（2件）</p> <p>・研修会への参加（別紙⑤）</p> <p>ますだ福祉医療ネットワーク・精神疾患や認知症に関する研修・主任介護支援専門員更新研修・益田市ケアマネジメント支援研修・身寄りのない人の支援に関する研修・相談援助やアセスメントに関する研修等</p>
<p>⑤圏域地域ケア会議</p>	<p>【圏域地域ケア会議の開催】</p> <p>・定例型・随時型圏域地域ケア会議の開催</p> <p>・地域ケア会議での事例検討を積み重ねる中で、ケアマネジメント支援、地域課題の把握・整理を行なう。また、地域課題に対する対応策について、関係機関と連携を図りながら地域でできる取り組みについての検討・実施を行なう。</p> <p>・地域ケア会議で整理された地域課題について、美都圏域第2層協議体や適切な会議体へ繋げる。</p>	<p>【圏域地域ケア会議の開催】</p> <p>・益田市高齢者福祉課、美都地域総務課、社会福祉協議会美都支所、益田保健所等との連携により、定例型圏域地域ケア会議の開催（偶数月）</p> <p>・必要に応じ、随時型圏域地域ケア会議の開催</p> <p>・地域ケア会議で把握・整理を行った地域課題に対する取り組みの実施</p> <p>・第2層生活支援コーディネーターとの連携強化による地域課題への取り組みの実施</p>	<p>【圏域地域ケア会議の開催】</p> <p>・美都地域ケア会議 定例型：6回開催 随時型：1回開催（別紙⑥）</p> <p>・地域課題に対する取り組みとして、令和5年度に作成した「わたしのあゆみ」の周知を継続、栄養面に関するチラシ「脳を健康に保つための食事について」の作成を行った。令和5年度から実施している「交通手段・移送について、分かりやすい形での社会資源の見える化を図る」については完成間近となっていたが、令和7年10月に石見交通バス都茂線の廃止に伴い、取り組みが中断している。</p>
<p>⑥任意事業・その他</p>	<p>【任意事業】</p> <p>・介護予防支援又は居宅介護支援の提供を受けていない要支援又は要介護認定者に対する住宅改修支援を行なう。</p> <p>【業務に関係する関係各機関との連携】</p> <p>・地域包括支援センターの業務に関する関係各機関とのネットワークづくりや業務における資質向上に繋げていく。</p>	<p>【任意事業】</p> <p>・住宅改修の利用支援</p> <p>【行政が主催する会議】</p> <p>・益田市地域包括支援センター連絡会議（年3回）</p> <p>・益田市介護保険推進協議会（開催月）</p> <p>・益田市地域ケア推進会議（開催月）</p> <p>・益田市権利擁護推進会議（開催月）</p> <p>・益田市地域ケア個別会議（適宜）</p> <p>【他機関が主催する会議】</p> <p>・益田鹿足成年後見センター運営協議会・定例相談会（毎月）</p> <p>・グループホーム運営推進協議会（偶数月）</p> <p>・地域密着型サービス運営推進会議（年2回）</p> <p>・ますだ福祉医療ネットワーク会議（開催月）</p> <p>・美都圏域第2層協議体（奇数月）</p>	<p>【任意事業】</p> <p>・住宅改修の利用支援：1件</p> <p>【行政が主催する会議】（別紙⑦）</p> <p>・益田市地域包括支援センター連絡会議（5月・9月・12月）</p> <p>・益田市介護保険推進協議会（8月・2月）</p> <p>・益田市地域ケア推進会議（3月）</p> <p>・益田市権利擁護推進会議（2月）</p> <p>・益田市地域ケア個別会議（5月・8月・2月）</p> <p>・包括的相談支援事業者連携推進会議（7月・10月・3月）</p> <p>・ひきこもり支援機関ネットワーク会議（3月）</p> <p>【他機関が主催する会議】（別紙⑦）</p> <p>・グループホーム運営推進会議（4月・8月・10月・12月・2月）</p> <p>・地域密着型サービス運営推進会議（10月・3月）</p> <p>・ますだ福祉医療ネットワーク会議（5月・7月・9月・11月）</p> <p>・美都圏域第2層協議体（5月・7月・9月・11月・1月・3月）</p>

事業項目	令和7年度事業の重点項目	令和7年度 事業計画	令和7年度 実績報告
総合相談 支援業務	<p><b>【総合相談】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民等に「身近な相談窓口」として利用してもらえるよう、窓口の周知啓発や情報発信等を継続する。</li> <li>・地域住民の孤立を防ぎ、生活にかかわる困りごとの相談がサービス利用や支援につながりやすい環境づくりに取り組む。</li> </ul> <p><b>【地域包括支援ネットワーク構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の様々な関係者や関係機関、地域住民等と支援ネットワークの必要性の共通理解をはかり、活用できるネットワークを構築する。</li> </ul> <p><b>【実態把握】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のネットワークや高齢者が集まる場を活用し、高齢者の生活の実態把握をおこなう。</li> <li>・総合相談業務を通じて、個人や地域にどのような課題や傾向があるのか把握する。</li> </ul>	<p><b>【総合相談】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や地域の関係者や関係機関が集う機会や地域の情報誌などを活用し、センターの業務周知や利用促進などの啓発活動を継続する。</li> <li>・家族介護者に対し適切な情報等を提供し、介護負担の軽減や離職防止等に向けた支援をおこなう。</li> <li>・収集、整理した社会資源情報を可視化して、公民館や民生委員など地域の援助者へ提供する。情報は定期的に更新する。</li> </ul> <p><b>【地域包括支援ネットワーク構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館や駐在所、民生委員などが職務を通じて見つけた気になる高齢者への支援について、関係者がチームとしてかかわる体制づくりに取り組む。</li> </ul> <p><b>【実態把握】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が集まる場での相談を通じて生活等の実態把握をおこなう。</li> <li>・総合相談として受け付けた内容や相談経路などを集計分析し、センターの周知状況や地域課題の把握に活かす。</li> </ul>	<p><b>【総合相談】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規相談件数 50件（別紙①/前年度より11件増）、前年度からの継続件数 1件、相談終結件数 33件、延べ対応件数 300件（前年度より135件増）</li> <li>・地域の「介護」「福祉」「介護予防（集いの場）」「生活支援」「住まい」などの社会資源をまとめた「ひきみるガイド」を作成し、地域ケア会議メンバーや民生委員、公民館や匹見分庁舎等へ配布した。</li> </ul> <p><b>【地域包括支援ネットワーク構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・百歳体操教室に参加したいが移動手段がない住民への支援について公民館と協議したり、民生委員と相談しながら相談事例に対応したりするなど、地域のネットワークを活用した支援展開ができた。</li> </ul> <p><b>【実態把握】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・百歳体操教室、民生委員会議、福祉委員総会、市政懇談会に出向き、地域状況等の把握に努めた。</li> <li>・住民ニーズからテーマ設定された講話についての講師依頼を受け対応した。</li> </ul>
権利擁護業務	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通報受付後の初動期から終結までの対応や支援は、匹見地域総務課や高齢者福祉課との連携・協働を基盤とし、事例に関係する各機関と援助関係を構築しながらおこなう。</li> </ul> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な支援や受診等を拒否するセルフネグレクト状態の人や認知症の症状がある人などの対応について、匹見地域総務課や関係機関と協働しながら支援する。</li> </ul> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活センターや駐在所等と連携して、地域における消費者被害に関する情報を把握し、地域へ情報提供をおこなう。関係者等と適宜連絡を取り合い対応する。</li> </ul> <p><b>【広報・啓発活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待や消費者被害の早期発見や、日常生活自立支援事業や成年後見制度の活用などのに関する情報を地域に発信し、権利を守る意識を高めるとともに、相談窓口の周知をはかる。</li> </ul>	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の高齢者虐待防止対応マニュアル等に従い、匹見地域総務課や高齢者福祉課と連携して対応する。また、事例に関係する各機関からの情報等を集約し、対応の方向性の共有をはかる。</li> <li>・益田市権利擁護推進会議への出席、虐待対応に関する研修会への参加を通して、関係機関等とのネットワークづくりをおこなうとともに、高齢者虐待対応をおこなう専門職としてのスキルアップをはかる。</li> </ul> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉委員や民生児童委員等へ協力を仰ぐなど、地域全体で支援する視点をもって対応する。</li> <li>・関係機関と連携し、日常生活自立支援事業の利用や成年後見制度の活用につなげる。</li> <li>・認知症や権利擁護に関する会議や研修会への参加を通して、関係機関等とのネットワークづくりに取り組む。また、権利擁護業務を担う機関としてのスキルアップをはかる。</li> </ul> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜、駐在所などと情報交換し、地域住民、福祉委員、民生児童委員、介護支援専門員、訪問介護員等に必要な情報提供をおこなう。</li> </ul> <p><b>【広報・啓発活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や家族、地域住民等から虐待や消費者被害などについての相談や情報がもたらされるよう、駐在所と連携しながら、サロンや健康教室などでの周知・啓発活動をおこなう。</li> <li>・チラシの配布や講話の実施、認知症サポーター養成講座の開催など、認知症などに関する正しい情報を伝える活動を行い、地域の権利擁護意識の醸成と共有をはかる。</li> </ul>	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者である介護支援専門員とともに同行訪問等による事実確認、情報収集をおこない、総合支援課へ報告。総合支援課主催のコアメンバー会議に出席し、今後の支援の方向性などを協議。その後も介護支援専門員と連携しながら対応。高齢者本人の安全確保ができたため、虐待案件としての支援は終結した（別紙②）</li> </ul> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症理解を深め、認知症高齢者支援に活かすため、地域ケア会議にて高齢者福祉課職員を講師に招き、VR認知症体験研修を開催した。</li> <li>・認知症の症状が悪化し、配偶者や周辺住民が対応に苦慮しているケースについて、行政保健師と自宅訪問を重ね、医療ソーシャルワーカーも交えた連携により専門医療機関への受診につなげたとともに、要介護認定申請にも至っている。</li> </ul> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の専門職が地域住民やサービス利用者等に向けて啓発活動ができるよう地域ケア会議にて島根県消費とくらしの安全室職員及び匹見駐在所員を講師に招き、島根県及び匹見地域における最近の消費者トラブルについての講話や対策などについて学ぶ機会を設けた。</li> </ul> <p><b>【広報・啓発活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者被害防止チラシを百歳体操教室など地域住民の集いの場や地域ケア会議などで配布し、消費者トラブルの情報提供や被害防止対策について啓発した。</li> </ul>

<p>包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p>	<p><b>【関係機関との連携体制構築支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域地域ケア会議のネットワーク構築機能を活用し、地域の介護支援専門員と関係機関との連携を支援する。</li> <li>・出席する会議等で得た情報やネットワークを地域に還元する。</li> </ul> <p><b>【介護支援専門員に対する個別支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な支援に加え、困難事例については適宜、事例検討をおこない、ケアマネジメント力の向上支援をおこなう。</li> <li>・生活支援コーディネーターとの連携により把握・整理した地域の社会資源情報を介護支援専門員へ提供し、ケアマネジメントに活かせるよう支援する。</li> </ul> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他地域の主任介護支援専門員との連携をはかりながら、地域の居宅介護支援事業所の実践を支援する。</li> </ul>	<p><b>【関係機関との連携体制構築支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市地域ケア推進会議、益田市地域ケア個別会議、第2層協議体等により得た情報やネットワークを地域の介護支援専門員と関係機関との連携体制構築に活かしていく。</li> </ul> <p><b>【介護支援専門員に対する個別支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議や包括居宅合同ミーティングなどを活用し、地域の介護支援専門員が抱える支援困難事例の検討をおこなう。</li> <li>・収集、整理した地域の社会資源情報を可視化して介護支援専門員等へ提供する。情報は定期的に更新する。</li> </ul> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の介護支援専門員等のニーズに基づいた研修会等の企画や運営をともにこなう。</li> </ul>	<p><b>【関係機関との連携体制構築支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市包括的相談支援者連携推進会議、引きこもり支援機関ネットワーク会議などで得たケアマネジメントに活かせる情報等を居宅介護支援事業所の介護支援専門員に提供した。</li> </ul> <p><b>【介護支援専門員に対する個別支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護支援事業所との研修を12回（うち1回は事例検討）を開催した（別紙③）。</li> <li>・地域の「介護」「福祉」「介護予防（集いの場）」「生活支援」「住まい」などの社会資源をまとめた「ひきみるガイド」をケアマネジメントに活用してもらうよう居宅介護支援事業所の介護支援専門員に配布した。</li> </ul> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市ケアマネジメント支援研修の企画、開催（2月）</li> </ul>
<p>介護予防ケアマネジメント</p>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予防給付および介護予防・生活支援サービス事業によるサービスが適切に提供されるようケアマネジメントをおこなう。</li> <li>・高齢者や家族、サービス事業所等と「介護予防」や「自立支援」の意識の共有をはかり、高齢者の行動変容につながる支援をおこなう。</li> <li>・地域住民に向けて、フレイル予防についての啓発と情報提供活動をおこなう。</li> </ul>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と地域のつながりを意識した予防給付および介護予防・生活支援サービス事業の介護予防ケアマネジメントを実践する。</li> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業に関わる会議や研修、ケアマネジメント技術向上のための研修等へ参加し、業務に係る情報と知識の習得やスキルアップをはかる。</li> <li>・歯科診療所と協働し、フレイル予防啓発チラシの作成と配布及び地域住民が集う場でのプレゼンテーションを継続し、フレイル予防の推進に取り組む。</li> </ul>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給付管理件数 介護予防支援 258件（別紙④） 介護予防ケアマネジメント 156件（別紙④）</li> <li>・新規件数 11件（別紙④）</li> <li>・終結件数 9件（うち要介護区分への移行8件）</li> <li>・研修への参加 9回（別紙⑥）</li> <li>・地域内の全世代に向けた予防啓発活動として、オーラルフレイル予防啓発チラシを作成し、奇数月に全戸配布した。</li> </ul>
<p>圏域地域ケア会議</p>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別事例検討を通して、援助者間の連携意識を深め、支援の方向性などを共有し、介護支援専門員等のケアマネジメント力の向上と支援をはかる。</li> <li>・整理・分析した地域課題や、地域づくりに向けて検討した取り組みについて、第2層協議体とともに協議する場を定期的に設ける。</li> </ul>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護・医療・福祉等の専門職を中心とした定例型の地域ケア会議を継続して取り組む。また、相談事例について話し合う場を柔軟に設定する。</li> <li>・地域課題の解決に向けた取り組みについて、関係機関等との連携を基盤におく視点をもちながら検討し、実施につなげる。</li> <li>・生活支援や介護予防に係る地域課題や、課題解決に向けた取り組みについて、第2層協議体とともに協議する機会を定期的にもつ。</li> </ul>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間9回開催。個別事例検討（3件）と地域の状況や課題及び地域課題解決に向けた取組みについての協議を実施するとともに、専門職のスキルアップや、専門職が地域住民や利用者に向け啓発活動ができる知識を獲得できるよう、「消費者被害対策」「終活」「認知症理解」についての勉強会もそれぞれ実施した（別紙⑤）。</li> </ul>
<p>任意事業・その他</p>	<p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修支援事業の対象者に対し、住宅改修に関する情報提供や助言等を行い、適切な事業実施をおこなう。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務に関する関係各機関との連携による支援のネットワーク形成をはかるとともに、センター業務における資質向上をはかる。</li> </ul>	<p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修に係る事前・事後の申請について速やかにおこなう。</li> <li>・対象者等の生活や身体の状態に応じて、必要な支援につなぐ。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や他機関が主催する会議への出席を通し、関係各機関とのネットワーク形成や、業務における資質向上につなげていく。</li> </ul> <p>1) 行政が主催する会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市介護保険推進協議会（開催月）</li> <li>・益田市地域ケア推進会議（開催月）</li> <li>・益田市権利擁護推進会議（開催月）</li> <li>・益田市地域ケア個別会議（適宜）</li> </ul> <p>2) 他機関が主催する会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田鹿足成年後見センター運営協議会・定例相談会（毎月）</li> <li>・地域密着型通所介護事業所運営推進会議（2事業所・年2回）</li> <li>・匹見地域生活相談員会議（適宜）</li> <li>・匹見圏域第2層協議体（毎月）</li> </ul>	<p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修支援事業対応 1件</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や他機関が主催する会議に参加（別紙⑦）</li> </ul> <p>1) 行政が主催する会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市介護保険推進協議会（8・2月）</li> <li>・益田市地域ケア推進会議（3月）</li> <li>・益田市権利擁護推進会議（6・2月）</li> <li>・益田市地域ケア個別会議（5・6・12・2月）</li> <li>・益田市地域包括支援センター連絡会議（5・12月）</li> <li>・益田市包括的相談支援者連携推進会議（7・3月）</li> <li>・引きこもり支援機関ネットワーク会議（3月）</li> <li>・益田市匹見地域包括支援センター管理者会議（3月）</li> </ul> <p>2) 他機関が主催する会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型通所介護事業所運営推進会議（6・12月）</li> <li>・匹見地域生活相談員会議（4・1月）</li> <li>・匹見圏域第2層協議体（4・6・11・1・3月）</li> </ul> <p>3) そのほか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県地域包括支援センター連絡会総会・センター長会（8月）</li> </ul>